

活動情報

取組項目	外部組織への視察研修		
組織名	三区町環境保全隊	那須 管内	那須塩原 市

活動目的：他組織との情報交換

活動内容：①11月26日、これからの農業・農村を守るための若者で構成する「三区の未来を考える会」の視察研修を実施しました。研修先は、茨城県の「水戸市農業後継者クラブ」です。

②12月18日、24年度以降の活動継続と、さらなるレベルアップを目的として、活動の中心として活躍する構成員を対象にした視察研修を実施しました。研修先は茨城県つくば市「食と農の科学館」、土浦市「認定NPO法人穴塚の自然と歴史の会」です。

①「水戸市農業後継者クラブ」は、昭和49年に結成され、平成23年度現在24名の会員(平均年齢32歳)で、会員の経営内容は酪農、養鶏、普通作、露地・施設野菜、花壇苗と多様です。平成19年度には「全国農村青少年教育振興会長賞」を受賞しています。活動目的の一つである「食体験講座」は食べ物を大切にする気持ちを次世代に伝えてもらうことと農業の大切さや若い農業者の活動を知ってもらいたいとの願いを込め、消費者と一緒に米づくり体験・野菜づくり体験・味噌加工体験等多種多様な活動を実施しています。今回の研修は、若者同士の交流が図れたことにより、今後の活動に対する大きな刺激を受けたものと考えています。



【研修当日の味噌加工体験の様子】



【活動状況説明と意見交換】



【会員の代表者と集合写真】

②「NPO法人穴塚の自然と歴史の会」は、1989年に発足し、「穴塚大池」を囲むように雑木林や草原、田んぼや畑、小川や湿地など、様々な地形の100haほどの里山が広がり、多くの生き物たちをはぐくむ自然の宝庫となっているこの里山を保全し、穴塚から世界に向けて日本のSATOYAMAを発信する活動をつづけている認定NPO法人組織です。及川理事長さんから、活動の経過やご苦労、これからの保全活動に対する熱意等を聞き、自然環境の保全活動の重要性を再認識しました。今後の活動に参考になることが多くあり、有意義な研修となりました。

